

# 平成 25 年度 SSH 活動記録のページ

## ■ 平成 25 年度 SSH 活動記録 (3 月)

平成 25 年度 3 月の球陽高校 SSH の取り組みを紹介します。



### 2014. 3. 17 | 学校設定科目「SSH 探究 I (地学講座)」(1 年 3 組)

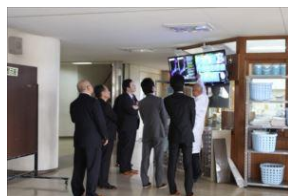
地学講座の後半 2 回目の講座は第 1 回に引き続き、津波の実験を行います。

1 回目の講座では浅い場所と深い場所によって波の高さが変わるかの実験を行いました。  
本講座では珊瑚礁の大きさによって津波の力がどう変わるかを実験で確かめます。

理論上は珊瑚礁が大きいほど津波の力を弱めることがわかっています。  
津波のモデルを用いて、珊瑚礁にみたてた障害物を準備し波の高さに変化があるのかを調べます。  
実際に実験してみると計測方法や計算によって予測した検証結果が得られず、仮説が正しくないという結果も・・・。

実験失敗も大事な経験の一つ。  
そして失敗から発見される新たな仮説や結果もあります。  
失敗を恐れず、チャレンジしよう！

※ この日の授業では、財務省職員が SSH の授業参観を行いました。  
また校内見学時に球陽气象台の説明も行いました。



### 感想

・津波の被害が少なかった理由がサンゴ礁だなんてとても面白いなと思いました。  
他の県にはサンゴ礁がないので沖縄に津波が来た事によって分かった事なんだなと思いました。  
綺麗で津波から守ってくれるなんてサンゴ・・・いいやつですね。また、サンゴ礁が柔らかいと

いう発想もなかったのが新鮮でした。

- ・サンゴ礁によって、津波が小さくなることを初めて知りました。  
実験では大きい差が出なかったけど、少しは小さくなったので、本当だったと確認できました。  
正確な結果を出すのは難しいのだと思いました。
- ・実験をするためには、基準を固定したり、しっかりと目的を確認することが大切だと分かりました。

---

## 2014. 3. 13-14 | 球陽気象台活用講座（国際英語科・1学年）

昨月に2学年の理数科にて球陽気象台の活用講座を行いました。

今回は1学年の国際英語科にて実施しました。

“SSH”と聞くと“理系＝理数科”の取り組みと受け取ってしまいがちですが、そうではありません。  
“SSH”は学校全体の取り組みです。

生徒の感想からは「普段目にする天気予報の見方が変わった！」という声がたくさんありました。  
次年度は天気に関する取り組みなどできればと考えています。

球陽高校から気象予報士が誕生することを楽しみにしています。



### 感想

- ・実験が目に見えて雨も色がついていたので、すごくわかりやすかった。これからは予報や雲の動きを見て傘をもつかもたないかをしっかり決めたいと思いました。楽しかったです。
- ・初歩的なことから少しずつレベルを上げて、先生がていねいに教えてくれたのでわかりやすかったです。実験もクイズもあってよかったなと思いました。
- ・この講座を受ける前までは、学年室にある気象モニターを見ても何がどうなっているのかわからなかったけど、今日の先生の話聞いてみて、読みとり方も意外と簡単だったし、これからは部活のときなどには活用してみようと思いました。
- ・今までは台風の進路にしか興味がなかったけど、気象台の活用の仕方を知って、体育がある日や放課後雨が降るかどうかというのを自分で判断できるのでものすごく便利だなと感じました。

2014. 3. 4 | 気象学会発表（地球科学部）

